

編集後記

本号では、昨年4月に開催された第47回横幹技術フォーラムでご講演頂いた4名のご講演者とサービス学会会長の山本昭二氏に、「第4次産業革命に向けたサービス科学の役割とビジネス応用」というミニ特集を組んで、論説や解説をお願いしました。併せて、本ミニ特集の編集にご尽力を頂いた、椿「横幹」副編集委員長と藤井産学連携委員に「ミニ特集を編集して」という記事をまとめて頂きました。昨今、所々で話題に上る第4次産業革命とは何かと、それに向けたサービス科学の実践のための横幹連合としての指針とを、上記の解説、論説と共に明快に論じています。横幹連合も、この第4次産業革命、そして、関連する日本での動向の大きな一つであり内閣府で打ち出している「Society 5.0」に、大きな関心を寄せて活動をしています。本号でも、これらに関連する連合の活動を扱ったトピックス「Society 5.0への横幹連合の取組み」,「第7回横幹連合コンファ

レンス開催報告」を掲載しました。こちらも参照頂きたいと思っています。

もう一つの会誌の流れとして、昨年度にスタートしたオープンアクセス化が順調に進んでいることが、J-STAGEでの記事参照の統計から見て取れています。関係者のご尽力に謝意を表します。それに加えて、この会誌のオープンアクセス化の主旨である、会誌を通しての横幹理念の開かれた議論をより広く行っていくために、2017年度より、会誌にクリエイティブ・コモンズ「表示 - 非営利 (CC-BY-NC)」レベルでのライセンス導入・適用を決定しました。これを通して、会誌「横幹」での議論を会員学会のみならず広く共有し、横幹連合の活動の普及や周知を図るものです。詳しい経緯と目的は、本号の「会誌『横幹』のクリエイティブ・コモンズ・ライセンス導入について」の解説記事にて紹介をしています。ご理解頂きたいと思っております。

会誌編集委員長 出口光一郎

【特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）】

□ 2016年度役員

会 長	鈴木久敏 (情報・システム研究機構)	
副会長	遠藤 薫 (学習院大学)	船橋誠壽 (北陸先端科学技術大学院大学)
理 事	大場允晶 (日本大学)	木全 晃 (香川大学)
	佐藤 誠 (東京工業大学)	杉本謙二 (奈良先端科学技術大学院大学)
	西村秀和 (慶應義塾大学)	藤井 享 ((株)日立製作所)
	松岡由幸 (慶應義塾大学)	三藤利雄 (立命館大学)
	皆川健多郎 (大阪工業大学)	鎌倉稔成 (中央大学)
	島田政信 (東京電機大学)	末岡 徹 ((株)地圏環境テクノロジー)
	田中 覚 (立命館大学)	椿美智子 (電気通信大学)
	坪井康次 (東邦大学)	出口光一郎 (東北大学)
	中西寛子 (成蹊大学)	保坂 寛 (東京大学)
	本多 敏 (慶應義塾大学)	六川修一 (東京大学)
監 事	木村忠正 (電気通信大学)	庄司裕子 (中央大学)

□ 2016年度会誌編集委員会

委員長	出口光一郎 (東北大学)	
副委員長	椿美智子 (電気通信大学)	
委 員	青柳秀紀 (筑波大学)	玉置 久 (神戸大学)
	水野 毅 (埼玉大学)	木全 晃 (香川大学)
	杉本謙二 (奈良先端科学技術大学院大学)	藤井 享 ((株)日立製作所)
	穴太克則 (芝浦工業大学)	加藤健郎 (慶應義塾大学)
	金子勝一 (山梨学院大学)	松岡 猛 (宇都宮大学)
	渚 勝 (千葉大学)	三宅美博 (東京工業大学)

■横幹技術協議会の主な活動実績 『横幹技術フォーラム』

横幹連合との共催で定期的開催している「横幹技術フォーラム」では、複合的視点を必要とする企業課題への技術情報を提供しております。

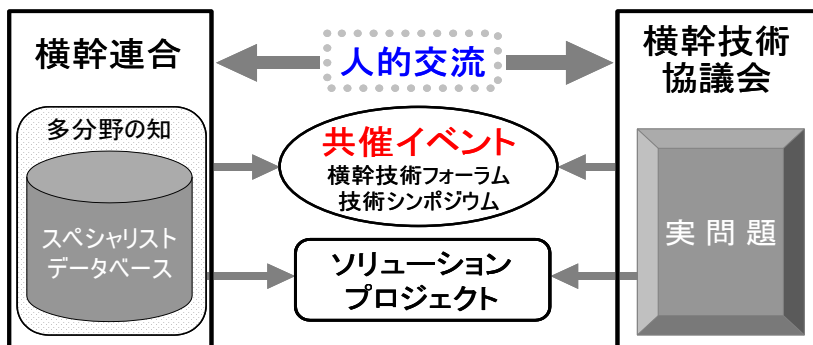
＜過去のフォーラム実績＞

- 第25回 3Dとバーチャルリアリティの最近の展開
- 第26回 シンポジウム「知の統合」に向けて～社会的役割と具体的事例～
- 第27回 将来社会創造アプローチの展開(1)～未来構想立案の実践と手法～
- 第28回 将来社会創造アプローチの展開(2)～市民との対話による構想立案～
- 第29回 知の新しい活用法を求めて～実践と理論の連携～
- 第30回 知の統合による経営の高度化に向かって～未来経営の構想と技術課題
- 第31回 企業における事業継続計画(BCP)の必要性
- 第32回 情報共有による社会インフラの強靱化～システム技術の新たな挑戦課題～
- 第33回 強いぞ！日本
～社会情報学の視点から東日本大震災からの復旧・復興を考える～
- 第34回 東日本大震災からの復興支援現場における支援活動
～次世代に向けた日本の街づくりとして我々は何ができるのか～
- 第35回 エネルギーマネジメントの新しい局面～社会システムの構築段階を迎えて～
- 第36回 アート・デザイン・テクノロジー～近くて遠いその関係～
- 第37回 「未来学」の過去・現在・未来
- 第38回 サービス学の成立 ～サービス科学・サービス工学の発展を受けて～
- 第39回 社会システム論で社会を読み解く
- 第40回 社会デザインのためのエージェントベースシミュレーション
- 第41回 社会的課題解決のためのイノベーション～社会システムとしての街づくり～
- 第42回 数学と産業の協働、データサイエンティストの育成
～イノベーションの創出と促進に向けた先進的取組み～
- 第43回 経営高度化としての統合リスクマネジメント経営の考察
- 第44回 ロボット活用社会の新潮流
- 第45回 システムデザイン力を展望する
- 第46回 第6次産業への取り組み－複数システムの連携による価値構築－
- 第47回 4次産業革命に向けたサービス科学の役割とビジネス応用に向けた課題
- 第48回 人工知能によるシステム構想力・統合力の強化
～ものづくりプラス企業の実現に向かって～
- 第49回 ビジネスイノベーションが先導する第4次産業革命（IoT/インダストリアル4.0）の実現に向けた産・学・官の役割と課題とは

※過去のフォーラムプログラムはHP(<http://www.trasti.jp/about.html#forum>)でご覧いただけます

■企業の課題解決支援（プロジェクト活動）

企業が抱える実問題に対し、他分野の専門家が共同してプロジェクトを組みソリューションを追求するもので、さまざまな要素が絡み合う複雑な課題へアプローチする、新たな産学連携の仕組みとして注目されています。横幹技術協議会では、中核会員企業に初期のフィジビリティスタディ段階のサービスを提供しています。



統合知による産業力強化を推進



横断型基幹科学技術推進協議会

会長 桑原 洋

日立マクセル(株)名誉相談役
元 内閣府総合科学技術会議協議員

横断型基幹科学技術推進協議会（略称：横幹技術協議会）は、企業を会員として横幹科学技術の推進活動を行っています。

「学」を中心とする横幹連合と、「産」を主体とする横幹技術協議会は互いに緊密に連携しながら、横幹科学技術を推進し、産業活動に生かすためのさまざまな活動を行っています。横幹連合と横幹技術協議会は、車の両輪として、横幹科学技術の学としての深化と社会への活用に取り組んでいます。

（設立：2004年5月）

■参加会員（2017年4月現在）

- 【中核会員】
株式会社 日立製作所
- 【一般会員】
鹿島建設 株式会社
三菱重工業 株式会社

横断型基幹科学技術推進協議会

Transdisciplinary Science and Technology Initiative

TEL&FAX:03-6675-4076 URL: <http://www.trasti.jp/>